

主題：三一の神が三部分から成る人に命となる

メッセージ 4

命の流れは命の務めを伴っており、神の壮大な家から出て、そのためである

聖書：エゼキエル 47:1-12. 啓 22:1-2. II コリント 3:6. I コリント 9:11. 3:6, 9. 4:15. 3:2, 12

- I. 聖書がわたしたちに啓示しているのは、神の中でのみ人の必要が満たされるということです。人の必要すべてに対して、神ご自身が供給であり、唯一の供給、すべての供給です——詩 43:4-5. 46:1, 4. 42:1-2. 16:2, 5. 73:16-17, 25-26. ヨハネ 8:58 :
- II. 啓示録がわたしたちに告げているのは、生ける水の水流が神と小羊の御座から流れているということです——22:1 :
 - A. この神聖な命の流れは神聖な命の交わり、すなわち、キリストのからだの交わりです。召会の交わりは神聖な命の流れであり、命の木、命の供給としてのキリストを伴っています——2 節. 1 ヨハネ 1:3.
 - B. あなたがこの水流、この流れを持っているなら、あなたは御座、小羊、ともし火としての小羊の中にある光としての神、命の木を持ちます——啓 21:23. 22:1, 5.
 - C. 三一の神がすべてを含むことは、この流れ、この水流の中にあります。主の引き上げられた人性がここにあります。十字架と葬りの要素がここにあります。復活、昇天、権威、主権、頭首権、実際の霊の流れ、すべての神聖な実際がこの水流、この流れの中に含まれています。
 - D. 生ける水のこの水流、この流れは、神の働きの水流です。流れることによって、神は働きます。流れることによって、神はご自身の福音を宣べ伝えます。流れることによって、神は人々を救います。流れることによって、神はわたしたちを新エルサレムとさせます——ヨハネ 4:10, 14 後半。
 - E. 神聖な命の流れの中にある働き、聖霊の流れは重荷ではなく、安息です。わたしたちが行なわなければならないのは、ただ彼の流れに従って行くことです。
 - F. あなたは注意深く召会歴史を学ぶなら、各世代を通していつも流れている聖霊の一つの水流があることを見いだします。
 - G. 今日あなたの内側で神の水流が流れているのでしょうか？ まさにこの瞬間それはあなたの内側で流れているのでしょうか？ 「わたしたちは思うままに走るのではなく、主の導きに従います。生ける水が流れる所で、心の中に光を持つようになります」——詩歌 650 番、1 節。
 - H. わたしたちが行なわなければならないことは、聖霊の水流、流れに従って行き、聖霊の働きの流れに服従することです。
 - I. 流れがあるところはどこでも、召会を建造するための尊い材料が生み出されず——創 2:10-12. I コリント 3:12 前半。
 - J. 人の中の神聖な命の流れは、神聖な性質を人の中へともたらし (II ペテロ 1:4)、人を再生し (I ペテロ 1:3)、人をキリストの栄光のかたちへと造り変えます (II コリント

3:18)。こうして、人、土のちりから創造された人は（創 2:7）、神の建造のための尊い材料に造り変えられます。それは真エルサレムにおいて究極的に完成します。

Ⅲ. 神の究極の動きにあずかるために、わたしたちは神の家（エゼキエル47:1-12）から出る命の流れを見て、経験する必要があります。「人の子よ、あなたはこれを見たか？」——6節：

A. 神の究極の動きは、人の中の神の動きであり、人を神化することです。それは神の命、性質、要素、本質において彼であるすべてをもって人に浸透し、神の栄光を現し、表現することによります——詩 36:7-9. II コリント 3:18. I ヨハネ 3:2。

B. 水は敷居の下から流れ出ます——エゼキエル 47:1：

1. 水が流れるために、敷居、裂け目がなければなりません——参照、詩 81:10。
2. わたしたちが主に近づき、彼とさらに多くの接触を持つなら、裂け目があり、生ける水が召会から流れ出るようにします——詩歌 614 番。

C. 流れは東に向かっていきます——エゼキエル 47:1：

1. 神の川は神の栄光の方角に流れます——参照、民 2:3. エゼキエル 43:2。
2. 召会の中にいるすべての人が神の栄光を尋ね求め、顧慮するなら、生ける水は召会から流れ出ます——ヨハネ 7:18. I コリント 10:31。

D. 水は家の右側から流れ出ます——エゼキエル 47:1：

1. 聖書の中で右側は最高の地位、第一位です——参照、ヘブル 1:3。
2. 命の流れはわたしたちの中で首位を持ち、わたしたちの生活と働きにおける制御する要因となります——啓 22:1. コロサイ 1:18 後半。

E. 流れが祭壇の側を流れていることは、わたしたちが十字架の対処と完全な献身を必要とし、命の流れを享受することを示しています——エゼキエル 47:1。

F. 命の流れの増し加わりのために、わたしたちは青銅の人としての主によって測られる必要があります——40:3. 47:2-6. 啓 1:15. 参照、ヨハネ 7:37-39：

1. 測ることは、調べ、試し、裁き、所有することです——参照、イザヤ 6:1-8. エゼキエル 42:20。
2. 完全な単位である千キュビト（参照、詩 84:10）を四回測ることが示しているのは、被造物としてわたしたちが主によって徹底的に測られる必要があるということです。それは彼がわたしたちの全存在を占有し、所有するためです——エゼキエル 47:2-5。
3. わたしたちが主にわたしたちを調べ、試し、裁いて、わたしたちを所有していただければいただくほど、ますます流れは深くなります。流れの深さは、わたしたちがどれほど主によって測られているかにかかっています——参照、I ヨハネ 1:5, 7。
4. わたしたちが主によって測られれば測られるほど、ますますわたしたちが命の恵みの流れによって制限され、限定されて、最終的に、わたしたちは川としての三一の神の流れによって失われ、押し流されて、その中で泳ぐに至ります。ある意味で、わたしたちはすべての自由を失いますが、別の意味でわ

たしたちは真に自由です——エゼキエル 47:5-6 前半。

G. 川はすべてのものを生きるようにします——9 節前半：

1. 川が流れる所では、すべてのものが生き、命に満ちます。
2. 川の流れるは木、魚、家畜を生み出します——7, 9 節後半-10 節, 12 節。

H. 川は砂漠を潤し、死海をいやします——8 節：

1. 川は乾き、乾燥した地を潤し、死んだ水をいやします。
2. この潤しいやすことは、命を生み出す目的のためです。

I. 川は沼をいやすことはできません——11 節：

1. 沼は中立の場所、中途半端な場所、妥協の場所です——参照、啓 3:15-16。
2. 命の川のため、また召会生活のために、わたしたちは絶対的である必要があります。
3. 「あなたが主の回復の中にいるなら、絶対に回復の中において、中途半端であってはなりません……主イエスは絶対的であることを願い、要求されます……絶対的であることによって、わたしたちは流れの中におり、流れは細々とした流れではなく、泳げるほどの川となるでしょう。その時、川が入る所では、すべてのものが生きるでしょう」（エゼキエル書ライフスタディ、メッセージ 26）。

IV. 命の流れ、命を与える霊としてのキリストに対するわたしたちの享受は、わたしたちが命の務めをもって、神のすばらしい有機的な建造、神の威厳ある家のために、種をまく者、植える者、水を注ぐ者、生む者、養う者、建造する者となるためです：

A. 新契約の十分な奉仕者は、命を他の人に供給し、彼らが命において成長するのを助ける人です——II コリント 3:6, 4:10-12, I ヨハネ 5:16 前半。

B. 命の奉仕者は、霊的な種をまく者です。

1. I コリント第 9 章 11 節でパウロはコリント人に、「わたしたちがあなたがたに霊のものをまいて、あなたがたから肉のものを刈り取る」と言っています。「霊のもの」とは、霊的な種を指しています。
2. 種は命の容器です。霊的な種をまくことは、わたしたちの霊の中で、霊をもって、霊から命を分け与えることです。
3. 主イエスは種をまく方としてきて、ご自身を命の種として人類の中へとまきました——マタイ 13:3, 37。
4. 主の回復の中でわたしたちは、新契約の奉仕者として、種をまく者となって、命を分け与え、他の人の中でキリストを成長させ、生み出す必要があります。

C. 命の奉仕者は、キリストを神の民の中へと植える者です——I コリント 3:6：

1. 信者たちは、キリストの中で神の命をもって再生されており、神の新創造における神の耕された地、神の農場です——9 節。
2. わたしたちはキリストを他の人の中へと植えるために、わたしたちの霊の中の命としてのキリストに対する純粋な経験を必要とします。

D. 命の奉仕者は、キリストをもって人に水を注ぐ者です——6 節：

1. いったんわたしたちはキリストを他の人の中へと植えるなら、彼らに命の水を注ぐ必要があります——啓 22:17。
 2. わたしたちは神の農場に水を注ぐ者を、農場に水を供給する容器を持つかんがいシステムにたとえることができます。わたしたちは神聖な「かんがいシステム」となり、容器を持って生ける水を内側に蓄え、神の農場としての召会に水を注ぐべきです。
 3. わたしたちは命の水としてのキリストに対する純粋な経験を持ち、彼と生ける接触を持って、生ける水の経路、神聖なかんがいシステムとなることができ、命の水を他の人に供給することができる必要があります——ヨハネ 4:14. 7:37-39。
- E. 命の奉仕者は、生む者、父であり、命を彼が生んだ子供たちに分け与えます—— I コリント 4:15 :
1. 生むことは、命の分け与えを通して霊の子供たちを生み、生み出すことです。
 2. わたしたちは神聖な「命の遺伝子」を持って、神聖な命を他の人の中へと分け与え、彼らが神の子供たちとして生み出されるようにする必要があります。
- F. 命の奉仕者は、養う者です。養うことは命の事柄です。それは教えることとは異なります。教えることは知識の事柄です :
1. 乳を飲ませ食物を食べさせることは、他の人を安なうことです—— 3:2。
 2. 使徒がコリントの信者たちに供給したものは、知識のように見えました。実は、それは乳（しかし固い食物ではない）でした。それは彼らを養ったはずでした。
 3. 使徒たちの健全な教えは、人々にとって命の供給としての健康な教えを供給し、彼らを養い、あるいはいやしました—— I テモテ 1:10 後半. 6:3. II テモテ 1:13. テトス 1:9 :
- G. 命の奉仕者は、金、銀、宝石をもって建造する者です—— I コリント 3:12 :
1. 金は神聖な性質における父なる神を象徴し、銀は贖いの働きにおけるキリストを象徴し、宝石は造り変える働きにおけるその霊を象徴します（人の性質を表徴する木、肉の中の人を表徴する草、命のないものを表徴する刈り株と相対します）。
 2. 雅歌が描写するのは、正常な召会生活の中で、成就された信者たちが造り変える霊と協力して、キリストを愛し追い求める者を成就することです。それは、三一の神を彼らに供給して彼らを造り変え、三一の神の属性が彼らの中へと造り込まれて、彼らの美德となることによります—— 1:10-11。
 3. 命の務めのための命の流れは、キリストの有機的なからだとしての召会の建造のためであり、新エルサレムを究極的に完成し、神の永遠のエコノミーを完成します—— I コリント 3:12. 啓 21:18-21。